



平成30年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 東京都千代田区永田町二丁目11番1号
アルコニックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 正木 英逸
(コード: 3036 東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員 手代木 洋
経営企画本部長

TEL 03-3596-7400

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、平成31年3月期を初年度とする平成33年3月期までの3年間の中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

当社は引続き、経営を取り巻く情勢の変化にスピーディーに対応するため、一年毎に経営計画を見直し、ローリングする方針としております。

1. 全体戦略

当社グループは、企業価値を更に高めるため、次の方針を掲げ、「**商社機能と製造業を融合した非鉄金属の総合企業**」を目指します。

- (1) 業容拡大のため川上、川中、川下のM&Aの推進、及び新規事業投資案件の発掘・推進に努めます。特に製造業のM&A及び事業投資にプライオリティを置き、収益における製造業部分の比率を高めます。
- (2) 日本企業が世界をリードする電子・機能材分野にて、その原料となるレアメタルの取扱いを含め、更なる業容拡大を目指します。
- (3) アルコニックスグループの商いの基盤を成すアルミ・銅分野の維持・拡大に努めます。
- (4) 環境問題に対応した国内外でのリサイクル分野の強化を図ります。
- (5) 海外ネットワークをさらに充実させ、顧客のニーズに応えるとともに、地場取引や三国間取引を増やすべく商社機能を発揮します。

2. 経営目標 (数値目標は計画の最終年度である平成33年3月期の目標値)

利 益 目 標	経 常 利 益	95億円超 (平成31年3月期見通し 77億円)
	当 期 純 利 益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	72億円超 (平成31年3月期見通し 55億円)
経 営 指 標	R O E	13~15%程度
	N E T D E R	1.0~1.3倍程度
投資計画	3年間で250億円 ※対象: M&A、事業投資、設備投資	

※詳しくは、添付資料をご参照ください。

以 上

中期経営計画

2019年3月期～2021年3月期の3カ年計画

事業環境の変化に迅速に対応し、よりスピーディーな意思決定を図るため
期間を3年とする1年毎更新のローリング方式を採用

中期経営計画の全体像

中期経営計画

アルコニックスグループのビジョン

商社機能と製造業を融合した非鉄金属の総合企業を目指す

経営方針

- M&A／新規事業投資 ➡ 業容拡大と商流開拓による持続的成長
- 電子機能材 ➡ 日本が世界をリードする分野での更なる拡大
- アルミ銅 ➡ アルコニックスのルーツである商流の維持拡大
- リサイクル事業 ➡ 環境分野への対応強化
- 海外展開／地場取引・三国間取引 ➡ 海外ネットワークの拡充

5つのアクションプラン

営業収益力の強化

「商社機能と製造業のシナジー」
「電子材料分野」「海外事業展開」

投資案件の推進

「製造業を中心としたM&A」
「事業投融資」「設備投資」

財務体質の強化

「自己資本比率向上」
「資金流動性の確保と
資金コストの低減」

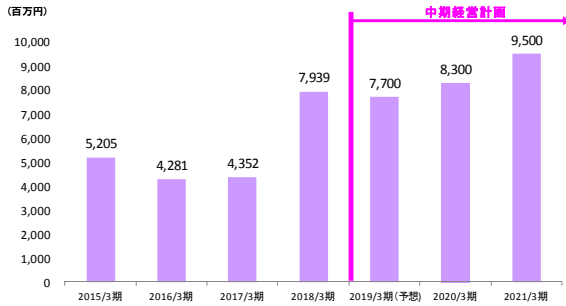
人的資源の強化

「優秀な人材の確保と
人材育成」

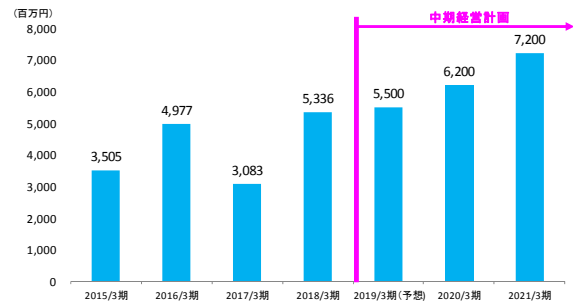
インフラ整備及び
内部統制の充実・強化

利益目標

連結経常利益：95億円超 (2021年3月期)

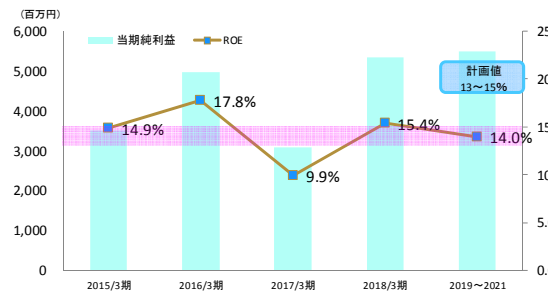


連結純利益：72億円超 (2021年3月期)

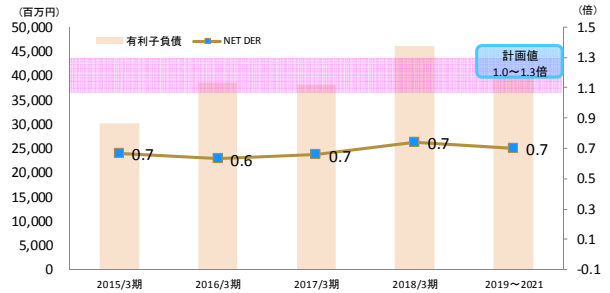


経営指標

ROE：13～15%程度 (2021年3月期)



NET DER：1.0～1.3倍程度 (2021年3月期)



投融资計画

3年間で250億円

対象：M&A／事業投資／設備投資純増額 (設備投資－償却額)

▶ 詳しくは P27投資案件の推進

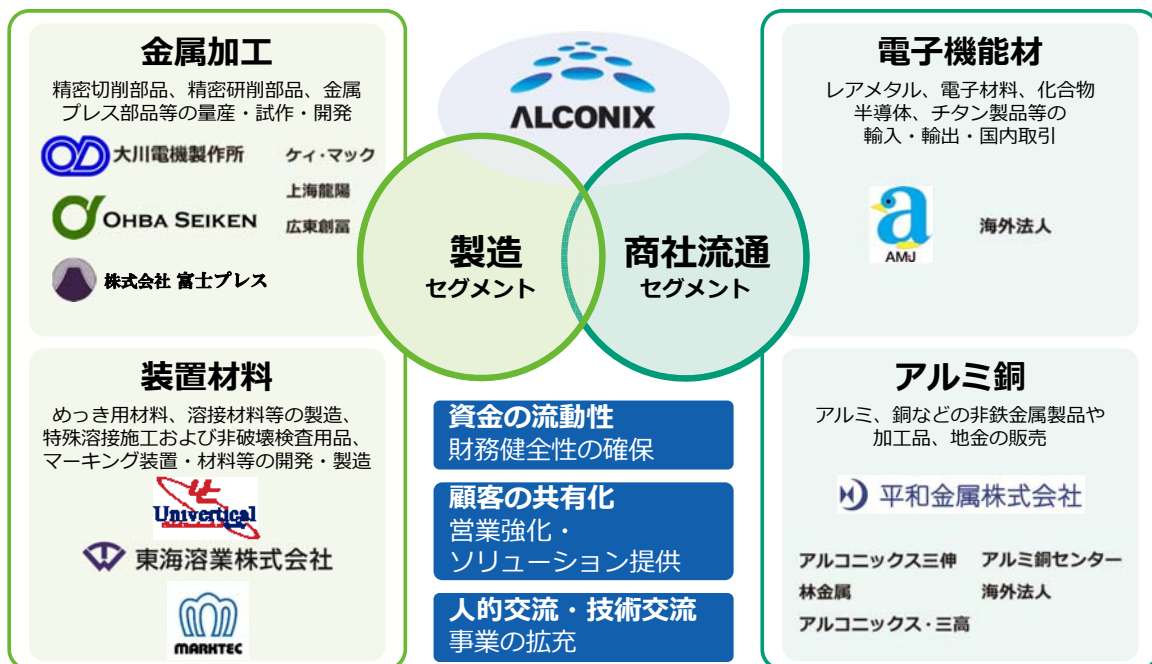
営業収益力の強化

① | 2分野のシナジー効果の最大化を追求

アクションプラン／中期経営計画

点から面へ

当社と、それぞれ単独で存在していた連結子会社を「面と面」で結び有機的な組織を構築することで生み出される「商社機能と製造業のシナジー」により営業収益力の飛躍的なアップを目指す。

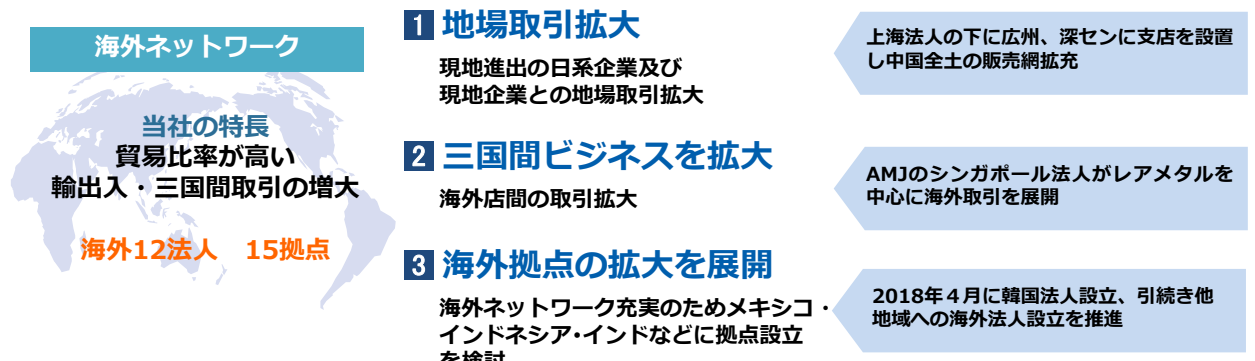


アルコニックス本体の電子機能材事業と連結子会社AMJがビジネス展開

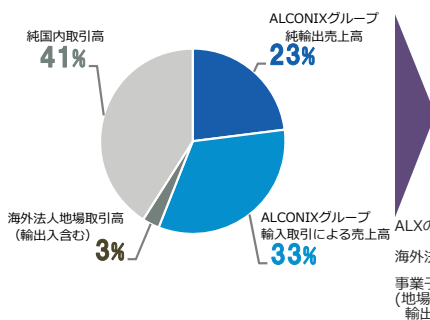
原料（レアメタル・レアアース）から製品（電子材料・機能性材料）までを網羅したビジネスを展開。自動車、家電、半導体・IT分野と幅広い分野においてコア素材から環境対応材料まで多目的で使用される。



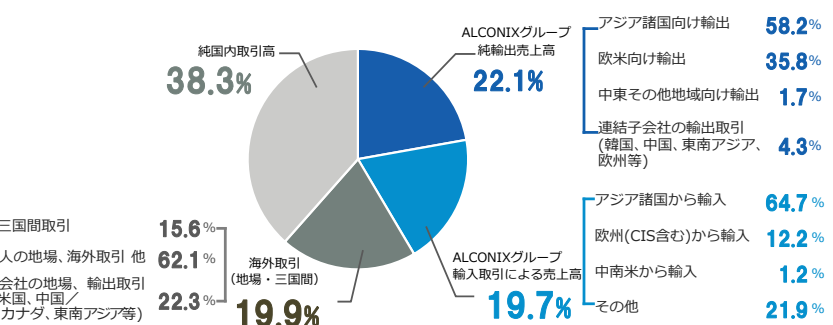
アルコニックス本体、連結子会社のAMJ、及び海外法人がエリア拡大推進。



形態別売上高比率（連結 2011年3月期）



形態別売上高比率（連結 2018年3月期）



基本方針

ニッチ分野でトップレベルの技術力を持つ企業をターゲット

● 3年間でM&Aを中心に
250億円の投融資を計画

● 投下資本経常利益率(ROIC) :
10%を目標



2018年度
計画

M&A

- 製造業への出資、M&Aの推進
- M&A先のPMI、製造子会社における設備拡張投資
- 子会社の業容拡大に寄与する子会社自身によるM&Aも推進

事業投資
(投融資)

- 海外でのベースメタル、レアメタルのリサイクル事業及びレアアースの資源開発事業への投融資

設備投資

- 投資効率を優先した生産設備増設
(Univertical、大羽精研、大川電機、マークテック、富士プレス、東海溶業)

短期間での業容拡大に有効なM&A、新たな商流を創出するための金属加工・販売事業等への事業投資及びリサイクルを含む資源確保のための投資を重点施策として推進。

M&Aで獲得した主要連結子会社



■アドバnstomaterialジャパン
(商社流通-電子機能材2004年1月)



■平和金属
(商社流通-アルミ銅2015年10月)



■UNIVERTICAL HOLDINGS INC.
(製造-装置材料 2012年12月)



■大羽精研
(製造-金属加工 2013年5月)

M&A実績 **15**件 (製造に対するM&A **6**件 商社流通に対するM&A **9**件)

直近実績

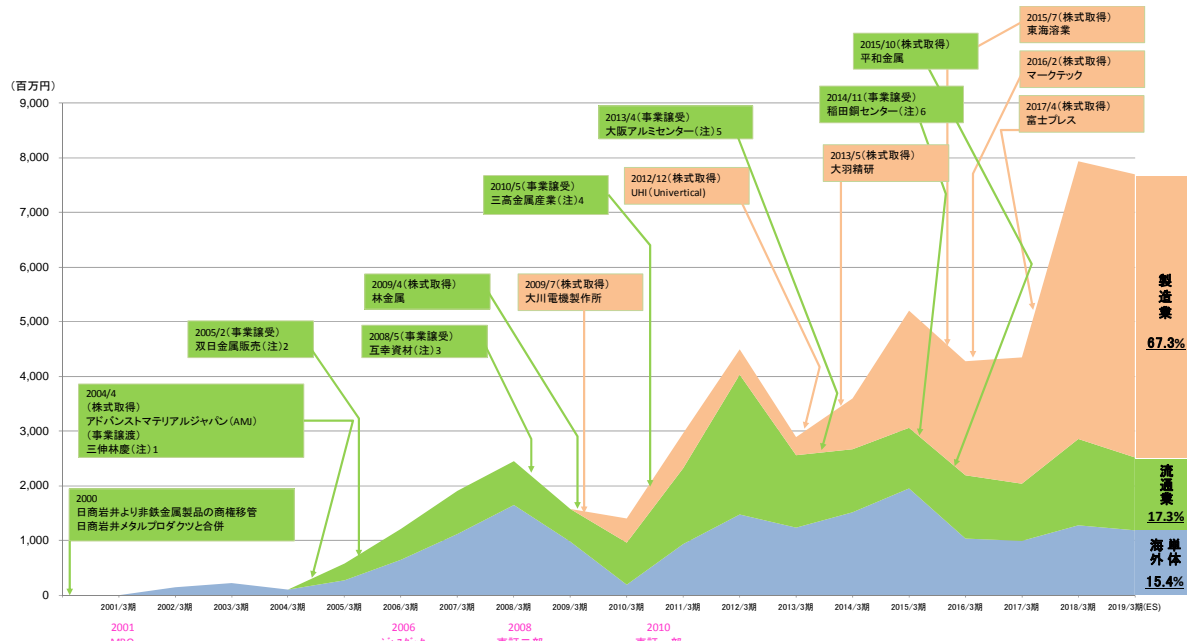
■大羽精研生産設備増設 (2018年2月5日完成)

当社の連結子会社である大羽精研(製造-金属加工事業)は、主力のチップマウンター用ヘッド部品並びに自動車試作・開発部品が好調であり、今後の受注増、事業拡張を見据えて昨年より建設を進めてきた新工場が2018年2月5日に竣工。



新工場外観

経常利益でみる事業構造の変化と成長（製造業が経常利益の過半を越える）



(注) 1 三伸林業は事業譲受後、当社の三伸林業部としてスタート。その後2008年に分社化し、アルコニクス三伸として独立。
 2 双日金属販売は当社非鉄原料本部材料部としてスタート。
 3 互幸資材はアルコニクス三伸によるM&Aで、後の札幌支店互幸資材営業部として設立。
 4 三高金属産業の事業譲受後、当社が設立したアルコニクス・三高に承継。
 5 大阪アルミセンターは2014年に「アルミ鋳造センター」に社名変更。
 (注) 6 稲田銅センターの事業譲受後、アルミ鋳造センターの北九州支店として継承。
 7 「製造業M&A」には持分法適用関連会社を含む。
 8 2001/3月は単体のみで経常損失。

M&A後に追加投資を実施。M&A時点と比較して、ほとんどの子会社で増収・増益・従業員数増加

M&A実行年度	社名	セグメント	連結形態	連結後の設備投資等
2004年	三伸林業（後に分社し、アルコニクス三伸に）	商社-アルミ銅	連結子会社	当社によるM&A、事業継承等（互幸資材含む計3社）
2004年	アドバンストマテリアルジャパン(AMJ)	商社-電子機能材	連結子会社	海外法人の設立(シンガポールにAMT、北京にAMB)
2009年	大川電機製作所	製造-金属加工	連結子会社	2016年4月に第二工場新設、2018年5月に第二工場を拡張
2012年	UNIVERTICAL HOLDINGS INC	製造-装置材料	連結子会社	2016年4月に中国蘇州に化成ラインを増設
2012年	広東創富（恒基創富）	製造-金属加工	持分法適用	2012年に大型設備投資を実施
2013年	アルミ銅センター（大阪アルミセンター）	商社-アルミ銅	連結子会社	2014年11月に稲田商會から事業譲渡、稲田銅センターの開設
2013年	大羽精研	製造-金属加工	連結子会社	2018年2月 新工場増設
2015年	平和金属	商社-アルミ銅	連結子会社	当社ベトナム法人を当社ベトナム法人に統合
2015年	東海溶業	製造-装置材料	連結子会社	当社指導による継続的な設備増強投資
2016年	マークテック	製造-装置材料	連結子会社	当社指導による継続的な設備増強投資
2017年	富士プレス	製造-金属加工	連結子会社	メキシコ合弁会社の設備増強

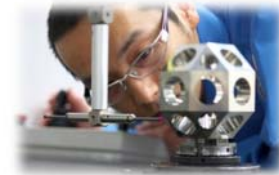
財務体質の強化

- 収益力の強化による自己資本比率向上等財務比率の改善推進
- 資金調達手段の多様化による、流動性確保と資金コストの低減
- 運転資金適正化によるフリーキャッシュフローの黒字化定着



人的資源の強化

- 新卒・中途採用双方を活用した優秀な人材の確保と社内教育の充実
- 当社人事理念であるProfessional、Challenging、Cooperativeな人材育成推進



インフラ整備及び内部統制の充実・強化

- 基幹システムの有効活用とスピード感あふれる内部統制の充実
- 当社グループの会計制度整備とレベルアップ
- 連結子会社等の増加・多様化に対応した管理体制の強化
- 適時開示体制の徹底と、コンプライアンス教育のグループ全体への浸透
- M&Aにより子会社化したグループ会社へのPMIの実施、コンプライアンス体制の構築



アルコニックスグループの強み

**アルコニックスを中心とした、
需要と供給を結び
強力なオルガナイザー機能**

アルコニックスグループは、川上（製造・リサイクル）から川中（商社）、川下（問屋）までの全てを網羅する「商社機能と製造業を融合した非鉄金属の総合企業」。

豊富なM&Aの成功実績

● 15件のM&A（6件の製造業、9件の流通業）
ニッチでありながら高い競争力、生産設備を保有する製造子会社を筆頭に、商社、問屋まで充実したグループを形成。

**電子材料向けのレア
メタル・レアアース
でトップクラスの実績**

金属チタン、タングステン化合物、レアアースではトップクラスの輸入量を誇る。その他マーケットシェアが高い電子・機能材料の取扱いがラインナップ。

**強固な海外ネット
ワークを持つ**

● 海外12法人 15拠点
自社の海外子会社及び委託海外店によって形成。中国、東南アジア、ヨーロッパ、北米に海外現地法人を構え海外地場取引を展開。グループ製造子会社が北米、中国、東南アジアに製造拠点をもち独自の販売ルートを確立。

**キャリア豊富
な人材を抱える**

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

